



四倉中学校
学校だより

しろうがね

No. 11 平成 30 年 10 月 2 日
いわき市立四倉中学校
☎ 3 2 - 2 3 0 5
発行責任者 校長 鈴木正人

スポーツフェスティバル “クラスの勝利をめざして” ——残る勝負は全員リレーのみ——

先週 26 日に、スポーツフェスティバルが実施されました。前日の降雨により、残念ながら校庭の状況は思わしくなく、綱引きなど一部の屋外種目の実施を見送りながらの進行となりました。それでもこれまでの練習の成果により、各学年ごとの競技では、クラスごとの熱戦と応援が相まって、大変な盛り上がりが見られました。多くの保護者の皆様の来校、応援もありがとうございました。各学年で実施の競技は次のとおりです。



2年 団体玉入れ

[1年] ペットボトルボーリング、ドッジボール
[2年] いろいろフリースロー大会、四倉ハリケーン、風船割り [3年] キックベースボール、(男)バレーボール、(女)フットサル
[全学年団体競技] 玉入れ、全員リレー：後日実施予定



1年 ペットボトルボーリング



3年 キックベースボール

学年競技・団体競技の種目ごとに、1位から降順に得点が決められており、クラスの勝敗による得点で、一喜一憂する様子が見られました。現在、学年ごと暫定の順位がでていますが、「全員リレー」種目を残しており、その結果により総合の順位が決まる予定となっています。

「学び習慣づくり」事業 進めています

教育委員会が主体の事業として、「学びの習慣づくり」を本校でも実施しています。本事業のねらいは、放課後、集中して学習に取り組める環境のもと、各自が一人学習により、自主的な学習習慣の定着を図り、学力の向上を目指すものです。



「白銀学習会」の様子 第3会議室にて

本校では「白銀学習会」と称して、9月半ばより計50回予定で、参加希望の28名の生徒が、放課後の学習会に取り組んでいます。当学習会の運営員として、本校元校長（三代前）の木村先生が担当しています。

かつての“四倉漁港”が やってきました

先日、本校に絵画の寄贈があり、それに伴い、感謝状贈呈式（市主催）



がありまし「朱の船底」 荻原延元 作 1970年
た。「朱の船底」と題する縦横2m程の日本画で、作者は、川村学園女子大学名誉教授の荻原延元さんです。いわきを旅した昭和45年の夏、四倉漁港で修理していた木造船をスケッチして描いた作品だそうです。

寄贈にあたっては、大震災により一変してしまった浜の風景を是非記憶に留めてもらいたいとの願いがあったとのこと。体育館後方壁面に掲示させていただきます。